極秘

5

電力統制國策ト外債ノ處理問題

一一、九、一四

外國爲替管理部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0700

輓近電力統制國策トシテ世上ニ喧傳サルルモノニハ民有國營案、民有民營案、國有國營案及電氣事業法ニ依ル統制强化案等種々アルモ其ノ主流ヲ爲スハ遞信省原案タル民有國營案ニシテ其ノ要綱ハ左ノ如シ

(1) 國營ノ範圍ハ發電及送電事業トシ國營ニ必要ナル發送電設備ハ新ニ設立スル特殊ノ株式會社（以下特殊會社ト稱ス）ヲシテ提供セシム、既存ノ發送電設備ハ之ヲ特殊會社ニ出資又ハ賣却セシム

(2) 特殊會社ハ國營ニ必要ナル設備ヲ爲シ政府ノ用ニ供スル義務ヲ負フト共ニ資金工事其ノ他業務遂行上必要ナル各種ノ特權ヲ享有ス

(3) 政府ハ發送電計劃ヲ樹立實施シ電力料金其ノ他供給條件ヲ定メ電力ノ供給ヲ爲ス、電力料金ハ其ノ均衡低減ヲ圖リ更ニ國家的要求ヲ考ヘ産業政策、社會政策ヲ加味シ其ノ適正ヲ期ス

(4) 政府ハ特殊會社ニ對シ設備使用ノ對價トシテ合理的ナル交付金ヲ支拂フ、政府ハ國營ノ爲特別會計ヲ設置ス

(5) 配電事業ニ付テハ供給區域ノ整理統合、料金監督ノ擴充其ノ他ノ方

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

法ヲ講ジ、國營ニ依ル卸賣政策ト相俟チテ一層强力ナル統制ヲ行フ

(6) 電力國策遂行ノ爲左ノ如キ法案及豫算案ヲ次期帝國議會ニ提出ス

國營法案

特殊會社法案

特別會計法案

電氣事業法改正案

國營實施ニ伴フ準備豫算案

民有國營案ヲ實施スル場合ニ於テ五大電力ノ外債ヲ如何ニ處理スベキヤハ本案遂行上ノ一重大難關ニシテ財務當局ニ於テ愼重考究ヲ要スル問題ナリト思惟スルヲ以テ以下其ノ方策ニ付論述スル處アラントス

0000 0702
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一、外債買入銷却ノ可否

五大電力外債ハ其ノ信託契約ニ徴スルニ何時ニテモ買入銷却ヲ爲シ差支ナキヲ以テ（例之東電信託契約第十五章第三條）若シ外債未償還高ノ全額ヲ此際一時ニ買入銷却シ（又ハ繰上償還ヲ爲シ）之ヲ內債ニ借換フルトセバ外債處理問題ハ最モ簡單ニ解決サルルコト異論ナシト雖モ未償還外債ノ大部分ハ海外ニ所在スル關係上之ガ買入ニ要スル資金ノ對外流出ガ爲替上ニ及ボス影響ヲ考慮セザルベカラザル處右ハ我外國爲替管理法運用ノ現行方針ニ照シ到底許容シ難キ處ナリ大藏省ハ昭和七年八月以降五大電力ノ外債負擔ヲ輕減スル爲資本逃避防止法及外國爲替管理法ニ基キ總額米貨（額面）三、七五三、〇〇〇弗及邦貨（所要資金）五一、八〇〇、〇〇〇圓ノ自社外債買入竝之ニ必要ナル外國送金ヲ許可シタルコトアルモ昭和十年五月以後ニ於テハ本邦爲替及國際收支ノ推移ニ鑑ミ之ヲ許可セザル方針ヲ堅持シ居レリ

惟ヘバ近キ將來ニ於テ本邦爲替ノ情勢ガ幾分好轉シ外國爲替銀行ノ外貨資

金持高ニ餘裕ヲ生ズルコトアリトスルモ昭和十年十二月末日現在ニ於ケル五大電力ノ外債約未償還高（自社及傍系會社ノ手持高ヲ差引キタルモノ）米貨債八〇、九〇六、〇〇〇弗英貨債三、八一九、六一四磅ノ内海外所在分（本邦人ノ海外ニ於テ所有スル分ヲ除ク）ハ米貨債五四、四五四、五〇〇弗英貨債三、八一九、六一四磅ノ巨額ヲ算スルヲ以テ之ヲ買入銷却スルトセバ少クトモ二一〇、〇〇〇、〇〇〇圓餘ニ達スル買入資金ヲ一時ニ海外ニ送金スルヲ要シ本邦爲替ニ及ボス影響甚大ナルヲ以テ其ノ實行ハ絕對不可ナリト言フベシ

唯五大電力未償還外債ノ内本邦ニ所在スル分及本邦人ノ海外ニ於テ所有スル分ノ合計米貨債二六、四五一、五〇〇弗ハ買入資金ヲ外國ニ送金スルコトナク之ヲ買入レ得ルモノニシテ外國爲替管理上別段ノ支障ナキヲ以テ或ハ電力會社ノ任意買入ニ依リ或ハ所持人ニ强制賣却ヲ命ズル方法ニ依リ之ヲ實行シ得ベシト雖モ未償還總高ノ四分ノ一强ヲ占ムルニ過ギザル在內分及本邦人所有在外分ノミノ買入銷却ニテハ民有國營案ノ實行ニ寄

與スル處寡少ナリ、而シテ若シ右ノ外債ヲ發行會社ニ强制賣却セシメントスル場合ニ於テモ外國爲替管理法第四條ノ發動トシテ之ヲ行フハ法ノ目的上穩當ナラザルベキヲ以テ電力統制ニ關スル法律中ニ別途之ガ規定ヲ設クルヲ可ナリト解ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0705

附表　五大電力未償還外債ノ内外在高（昭和十年十二月末日現在）及在外分買入所要資金調

社名及銘柄		純未償還高	在内分及本邦人所有在外分	在外分（本邦人所有在外分ヲ除ク）	在外分買入所要資金	買入所要資金算出ノ基礎 外債相場	為替相場
東電	六分	四七、〇七三、〇〇〇弗	一三、二九三、〇〇〇弗	三三、七八〇、〇〇〇弗	九一、八一二、三〇八圓	七九¾	二九¾
	六分半	五、二八二、〇〇〇	二、三五九、〇〇〇	二、九二三、〇〇〇	八、四九四、一八八	八五―	二九¼
	六分（英貨）	三、六四三、一五〇磅	〇磅	三、六四三、一五〇磅	五〇、五八七、七四九	八一―	一―二
東邦	七分	三、八九八、五〇〇弗	九五九、五〇〇弗	二、九三九、〇〇〇弗	九、二四四、〇三四	九二―	二九¼
	五分半（英貨）	一七六、四六四磅	〇磅	一七六、四六四磅	三、〇二五、〇九七	一〇〇―	一―二
大同	七分	七、三七七、〇〇〇弗	二、六五一、〇〇〇弗	四、七二六、〇〇〇弗	一五、三八九、七九五	九五¾	二九¾
	六分半	六、九〇八、〇〇〇	二、一一七、〇〇〇	四、七九一、〇〇〇	一四、六一八、六九四	八九¼	二九¾

日電 六分半	三,四六五,〇〇〇弗	一,八五一,〇〇〇弗	一,六一四,〇〇〇弗	四,七七三,〇二六圓	八六½	二九¼
宇治電 七分	六,九〇二,五〇〇	三,二二一,〇〇〇	三,六八一,五〇〇	一三,〇九八,六〇五	九六⅓	二九¼
合計 米貨	八〇,九〇六,〇〇〇弗	二六,四五一,五〇〇弗	五四,四五四,五〇〇弗	二一〇,〇四三,四九六	―	―
合計 英貨	三,八一九,六一四磅	〇磅	三,八一九,六一四磅			

第二、外債處理ニ關スル諸案ノ考察

電力民有國營案ノ實施ニ當リ買入銷却ニ依ラズシテ五大電力ノ外債ヲ處理スル方法如何ハ總ユル角度ヨリ愼重ニ研究調査ヲ要スル論題ナリ五大電力ノ外債ハ東邦ノ英貨債（註一）ヲ除キ何レモ物上擔保付社債ニシテ其ノ擔保及債權債務ノ基本關係ヲ規定シタル信託契約ノ準據法ハ本邦ノ擔保付社債信託法ナリト被認（註二）嘗テ政府保證滿鐵外債ヲ政府ニ於テ承繼シタルトキノ如ク準據法ガ外國法ナリヤ日本法ナリヤノ點ニ付テハ論爭ヲ生ズルノ餘地殆ンド無キヲ以テ法律ニ依リ信託契約ニ拘ラズ適當ナル處理方法ヲ講ズルモ差支ナシト解スル向アランモ右ノ見解ハ穩當ナラズト被認ヲ以テ暫ク之ヲ措キ信託契約並擔保付社債信託法等ノ規定ヲ尊重シ擔保力ノ維持、社債權者ノ保護ヲ圖ルコトヲ主眼トシ差當リ外債處理方策トシテ考ヘ得ル諸案ヲ次ニ列記シ其ノ内容ニ付實行ノ能否及利害得失ヲ檢討セントス

（註一）東邦電力五分利英貨社債（發行總額三十萬磅）ハ一九二五年英

國ノ Trade Facilities Act ニ基キ英國政府保證ノ下ニ發行セラレタルモノニシテ（物上擔保ナシ）其ノ準據法ハ英國法ナルコト明瞭ナレバ他ノ五大電力外債ニ比シ法律上ノ處理手續困難ナルヤノ觀アルモ事實ハ然ラズ蓋シ右ハ在英 Prudential Assurance Co. ノ一手所有スル處ニ屬シ社債權者ノ同意ヲ得ルコト極メテ容易ナルヲ以テナリ、以下外債處理案ノ論述ハ右社債ヲ除外シテ考慮シタルモノナリ

（註二）五大電力外債ノ信託契約ハ本邦擔保付社債信託法ニ準據シ其ノ強行規定ニ違反セザル限度ニ於テ英米法ノ精神ヲ加味シタルモノナリト解スルコト通説ナリ

一、外債ノ擔保物ノ全部又ハ大部分ガ發送電設備ヨリ成ル會社ニ在リテハ發送電設備ヲ出資スルコトハ信託契約ニ定ムル抵當物件ノ包括移轉(sale, transfer or conveyance of the mortgaged property as an entirety or substantially so)ニ該當スルヲ以テ抵當權付ノ儘發送電設備ガ特殊會社ニ移轉スルト共ニ外債ノ負擔モ特殊會社ニ於テ之ヲ繼承スルコトトナ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

リ事態ハ比較的簡單ニ解決スルヤニ認メラル、斯ル會社ガ發送電設備出資ノ結果獨立的存立ノ意義ヲ失ヒ特殊會社ニ合併スル場合ニ於テモ同樣ナリ、右ノ擔保物ノ包括移轉及債務者ノ變更ハ信託契約ノ解釋上社債權者集會ノ決議ヲ要セズト解スルモ之ヲ要スト爲ス論者モアリ

（註）大同及日電兩社ハ外債擔保物ノ大部分ガ發送電設備ヨリ成ルト被認ヲ以テ右規定ノ適用ヲ考慮スルノ餘地アリ

二、外債ノ擔保タル工場財團ガ發送電設備ノ外相當額ノ配電設備ヲ以テ構成セラレ前者出資ノ結果擔保物ガ兩分セラルル會社ニ付テハ外債ノ負擔者ヲ何人ニスベキヤ、擔保物ヲ如何ニ處理スベキニ付テ法律上及事實上頗ル困難ナル問題ヲ生ズト雖モ次ノ諸案ヲ考ヘ得ベシ

（註）擔保物ノ大部分ガ配電設備ヨリ成リ發送電設備ヲ出資スルモ擔保物ノ大部分ガ現會社ニ殘ルモノニアリトスレバ別箇ニ問題ヲ考察スルノ要アリト雖モ五大電力ノ中ニハ此種ノモノナシ、最モ多額ノ配電設備ヲ擔保ニ供スト認メラルル東邦ニ在リテモ配電設備

ノ占ムル割合ハ約四割ニ過ギズ

(一)第一案－外債ノ負擔者ヲ現會社トシ其ノ擔保ニ關シテハ出資ノ目的タル發送電設備ノ代償トシテ現會社ノ取得スベキ特殊會社ノ株式ヲ所謂物上代位ノ原則ニ從ヒ外債ノ擔保物トシテ質入スルコト

五大電力會社ノ信託證書ニハ工場財團ノ全部又ハ一部ガ公用徵收ニ依リ收用セラレタルトキハ(if the Factory Estate shall be taken under the power of eminent domain or by condemnation) 其ノ補償金(Proceeds)ヲ受託會社ニ供託シ其ノ上ニ擔保權ヲ設定スル旨ノ規定存スルヲ以テ本案ハ社債權者集會ノ決議ヲ經ズシテ簡單ニ實行シ得ルモノト考フル向アルモ特殊會社ノ株式ヲ擔保物ト爲スコトハ左ノ通多大ノ難點ヲ包藏スルモノナリ

(1)信託契約ニ定ムル公用徵收ニ於テ公用徵收權利者ハ必ズシモ國家タルヲ要セズト解スルモ其ノ補償金ハ現金又ハ公債ヲ意味スルモノナリトノ説有力ナリ、蓋シ株式ハ商法上ノ株式引受契約

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0711

ニ基キ取得セラルルモノニシテ縦ヘ事實上之ヲ強制的ニ交付スル場合ト雖モ當事者間ニ株式引受契約ノ存在ヲ否定スルヲ得ズ從テ公用徵收ノ補償物トシテ現金又ハ公債ヲ一方的ニ交付スル場合トハ著シク趣ヲ異ニスルヲ以テナリ

(2) 發送電設備ヲ外債ノ擔保トスル結果外債償還不能ノ場合ニ於テ社債權者ハ他ノ債權者ニ優先シテ物上擔保ヲ實行シ其ノ辨濟ヲ受クルモノナルニ拘ラズ特殊會社ノ株式ヲ今後外債ノ擔保物タラシムルニ於テハ株主ガ會社ノ財產ニ付受クル權利ガ擔保權者ノミナラズ無擔保一般債權者ノ次ニ位スル關係上社債權者ノ既得利益ハ著シク侵害セラルルコトトナル、加之株式ハ價格ノ變動甚シク社債ノ擔保物トシテ適當ナラズ、以上ノ見地ヨリ銀行局ハ擔保付社債信託法ノ解釋上株式ハ同法第四條第二號ノ「證書アル債權質」ニ該當セズトノ見解ヲ持シ居レリ

(3) 假リニ信託契約ノ公用徵收ノ規定ニ依リ株式ノ物上代位ヲ強行

シ得ルモノト爲スモ本件ニ付テハ社債權者集會ノ決議ヲ要スト
解スル論者アリ

(二)第二案―發送電設備ヲ出資スルモ之ヲ抵當權ノ目的ヨリ除却セズ現會社ニ殘存スル配電設備及特殊會社ノ所有ニ歸スベキ發送電設備ヲ以テ夫々別箇ノ工場財團ヲ組成シ之ヲ外債ノ擔保ト爲スコト此場合ニ於テ外債ノ負擔者ハ現會社ノミトセズ兩會社ノ共同負擔ト爲スコト

(イ)本案ハ現在ノ工場財團中ニ含マルル發送電設備ト配電設備ヲ所有者ノ異ナルニ從ヒ別箇ノ工場財團ニ分屬セシメントスルモノニシテ形式的ニ見レバ一應首肯シ得ル案ナリト雖モ仔細ニ檢討スルニ左ノ二點ニ於テ難色アリ

(1)外債ノ擔保タル工場財團ハ發送電ヨリ配電ニ至ル一切ノ設備ヲ以テ組成セラレ同一會社ノ所有經營ニ屬スルガ故ニ全幅ノ效果ヲ發揮スルコトヲ得ルモノニシテ之ヲ發送電會社ト配電會社ト

ニ分屬セシムルニ於テハ擔保ノ價格ニ影響ヲ及ボシ社債權者ニ損害ヲ與フル虞アリ、況ンヤ特殊會社ニ歸屬セル財團ニ對シテハ國家統制上其ノ保存管理處分等ニ付種々特別ノ制限ヲ加ヘラルベク、從テ從來信託契約ニ依リ社債權者ノ利益ノ爲ニ定メタル取扱其ノ他ヲ續行スルニ由ナキニ於テヲヤ

(2) 財團ノ分割ハ擔保ノ變更ナルヲ以テ擔保附社債信託法第七十五條ノ規定ニ依リ社債權者集會ノ決議ヲ要ス

(ロ) 擔保關係ヲ(イ)ノ如ク處理シ本案ヲ實行スト假定シタル場合ニ於テ外債ノ負擔者ハ依然現會社トシ第三者タル特殊會社ガ其ノ財產上ニ抵當權ノ存續ヲ同意スルノ形式ヲ採ルコト必ズシモ不可能ニ非ザルモ社債權者ノ保護及負擔ノ公平ヲ期スル見地ヨリ兩社ノ共同負擔ト爲スヲ適當トス。共同負擔トハ對內關係ニ於テハ負擔部分ヲ定ムルモ社債權者ニ對シテハ兩社共同シテ不可分債務(民法四三〇條)ヲ負フノ謂ニシテ恰モ明治三十九年法律第十七號ノ鐵道

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

國有法ニ基キ北海道炭鑛鐵道株式會社所屬鐵道ヲ政府ガ買收スルニ當リ該社ノ英貨社債ヲ政府ガ共同シテ引受ケタルト同様ノ法律關係ヲ樹立セントスルモノナリ。

(三)第三案―出資ノ目的タル發送電設備ノ上ニ存スル抵當權ヲ解除シ之ガ代償トシテ政府ニ於テ債務保證ヲ為スコト、此場合ニ於テ外債ノ負擔關係ハ(二)案ト同ジク兩會社ノ共同負擔ト為スコト。

發送電設備ノ上ニ存スル抵當權ヲ解除スルコトハ特殊會社ノ國家經營上有利ナルハ言ヲ俟タズ又其ノ代償トシテ政府保證ヲ為スニ於テハ擔保力ニハ實質上殆ンド變動ナク社債權者ニ損失ヲ與フルノ虞ナキヲ以テ本案ノ實行ハ必ズシモ不可能ナラズト思惟ス、然レドモ信託契約ニ於テ擔保ノ解除(releases of mortgaged property)ヲ為シ得ル場合ハ著シク局限セラレ居リ例之東電ノ如キハ解除部分ガmajor part ナラザルコト並ニ該部分ガ殘存擔保物ノ維持管理及使用ニ支障ナキコトヲ要件ト為シ居レルヲ以テ擔保ノ解除ハ信

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

託契約上ハ勿論擔保付社債信託法第七十五條ノ精神ニ徴スルモ社債權者集會ノ決議ヲ經ルヲ要スト解ス、又擔保解除ノ代償タル政府保證ニ付テハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約トシテ議會ノ協贊ヲ要ス

(四)第四案－兩會社ニ分屬スル發送電設備及配電設備ヲ以テ別箇ノ工場財團ヲ構成シ之ヲ外債ノ擔保ト爲スト共ニ政府ニ於テ債務保證ヲ爲スコト、主タル債務ノ負擔關係ハ前二案ト同ジク兩社共同トス

本案ハ結局第二案ノ骨子ヲ採リ之ニ政府保證ヲ追加シタルモノニシテ財團ノ分割ニ依ル擔保力ノ薄弱化ヲ補ヒテ餘リ有ル政府保證ヲ爲スコトニ依リ實質上擔保力ヲ擴大強化セントスルモノニシテ社債權者保護及國際信用維持ノ趣旨ニ合致スルヤニ認メラル。

本案ニ付テハ物上擔保存置ノ上政府保證ヲ爲スハ邦債ノ地位ヲ餘リニ低ク評價スルモノナリトノ批難生ズベシト雖モ前掲鐵道國有法ニ依リ政府ガ北海道炭鑛鐵道株式會社及關西鐵道株式會社英貨社債ヲ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 0716

引受クルニ當リ両社債ノ物上擔保ハ依然之ヲ存續セシメタル前例アルヲ以テ（註）必ズシモ排斥スベキニ非ズト言フベシ。

（註）關西鐵道外債（百萬磅）ハ鐵道財團ヲ擔保トスルモノニシテ政府ハ擔保物ト共ニ其ノ債務全額ヲ承繼シタリ。北海道炭鑛鐵道外債（百萬磅）ハ鐵道財團及鑛業財團ヲ擔保トスルモノナリシガ政府ハ鐵道財團ヲ買收スルト共ニ右外債ノ内四拾萬磅ニ付共同債務者トシテ參加シタリ。

本案ノ實行ニ當リ其ノ手續上豫算外國庫負擔ノ契約タル政府保證ニ付議會ノ協贊ヲ要スルコト當然ナルガ社債權者集會ノ決議ヲ要スルヤ否ヤニ付テハ疑義アリ。物上擔保ノ存續ヲ認メタル上政府ガ保證債務ヲ負フコトヲ以テ擔保付社債信託法第七十四條ノ擔保ノ追加ト看做スニ於テハ受託會社ト委託會社トノ契約（追加信託契約）ヲ以テ之ヲ實行シ得ベシト雖モ（政府ガ主タル債務者トナリタル前記二鐵道會社外債ノ場合ハ斯ル見解ヲ採リタリト云フ）財團ノ分割ニ付

テハ第二案ニ於ケル如ク擔保ノ變更トシテ同法第七十五條ニ依リ社債權者集會ノ決議ヲ要スト論ズル者アリ。

(五)第二案及第四案ニ付テ更ニ考究スベキハ工場財團ヲ分割セズ發送電設備ト配電設備トガ其ノ所有者ヲ異ニスル儘兩社ヲ以テ一箇ノ財團ヲ組成シ得ルヤ否ヤノ點ナリ。若シ工場抵當法ノ解釋上斯ル處置ガ可能ナリトスレバ兩案ノ實行ハ一層容易トナルベキヲ以テ此點ニ付研究ヲ進ムルノ要アリ。

電力國有論ト公債政策トノ關聯ニ關シテ

一、電力國有ノ爲ニハ電力會社ノ資産ヲ國家ニ移轉スル對價トシテ其ノ價額約二十億圓ニ相當スル公債ノ交付ヲ要シ且今後遞年電力設備ノ擴張改良ノ爲年々約一億五千萬圓ノ新規公債ノ發行ヲ必要トスヘシ然ルニ我財政ノ現狀ハ既ニ相當多額ノ已發公債ヲ存スルニ加ヘテ今後年々巨額ノ新規公債ノ發行ヲ必要トスル際ナルヲ以テ此ノ際トシテハ公債政策上前記ノ如キ交付公債ノ一時的巨額ノ増發ト年々多額ノ新規發行ハ之ヲ容認シ得ザル所ナリ　其ノ理由ハ

(1)電力設備ノ買收ノ爲ノ交付公債ハ少クトモ其ノ一部ヲ市場ニ賣出サルル虞アリ

規格 B.5. (11.5. 植木納)